

「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせに。

福祉くるべ



にんげんに、
国境はありません。

2023
07
July

特集「その後 - 世界を見てきた若者たちの今・前編 -」

第18回 黒部市社会福祉大会

黒部善意銀行

チャリティー友愛セール

〔編集・発行〕 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 令和5年7月1日発行

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、イベントの中止や休館となることがございますので、ご了承ください。
来館時にはマスクの着用、検温、手指消毒を推奨しています。

2023
7

介護予防のための

元気はつらつ体操教室

黒部市福祉センター
TEL.(0765)54-1082

★新規参加者随時受付中

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4 音楽療法	5 自力整体	6 自力整体	7 音楽療法	8
9	10	11 体操	12 熱中症・ 脱水について	13 健康体操	14 脳トレ	15
16	17 海の日	18 自力整体	19 健康体操	20	21 自力整体	22
23	24	25	26 音楽療法	27 音楽療法	28 健康体操	29
30	31	8/1 自力整体	2 自力整体	3	4 健康体操	5

- 健康体操**
樋口 瞬 先生
 - 音楽療法**
畠山 悦子 先生
 - 自力整体**
稲田 清美 先生
 - 脳トレ**
くろべ 脳トレクラブ
 - 熱中症・脱水について**
サエラ薬局
 - 体操**
藤田 英子 先生
 - 健康体操**
牧野 和子 先生
 - は休館日
- 時間/10:00~11:00
対象/65歳以上の方
参加費/300円(入館料のみ)

★令和4年4月より、生き生き倶楽部の予定は広報くろべにて掲載しております。

健康の 豆 閉じこもりを予防する 知識 4つのポイント

- ① 規則正しい生活・食事
- ② 家事・運動・体操
- ③ 趣味・生きがい
- ④ 地域活動への参加

出典:一般社団法人 富山県作業療法士会



今月の表紙

ご近所同士のブライアンさんと和子さん。夕方の公園でベンチに座って会話を楽しています。最初は恥ずかしそうにしていた二人も時間が経てば話題が尽きません。国境と世代を越えたつながりが生まれています。

福祉・ボランティアに関することは

社会福祉法人 **黒部市社会福祉協議会**

<http://www.kurobesw.com/>



本所 黒部市福祉センター内

〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市ふれあい福祉センター内
〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp

私たちは5GOALS for 黒部を推進しています



ちよこつと情報 [黒部市の人口] 39,857人 [65歳以上の人口] 12,843人 高齢化率 32.2% R5.5.31現在

平成31年1月号の福祉くるべで、青年海外協力隊(※1)としてカメルーンで2年間活動してきたことを話された吉田詩甫子(よしだしほこ)さん(32歳)。あれから5年が経ち、現在は富山県こどもみらい館(以下、みらい館という)で働きながら、NPO団体と国際理解に関する団体の活動もしています。今回は、人が育つことに携わり続ける吉田さんの姿を紹介します。

子どもたちが体験から学ぶことを大切にしたい

青年海外協力隊の任期を終え帰国してからは、JICA北陸富山デスクで青年海外協力隊を希望する人への相談対応や隊員の送り出し、学校への講師派遣などの仕事に約1年半携わりました。体験から学ぶことを大切にしてきた吉田さんは、子どもとの学びに関わりたいたいという思いもあって、令和2年にみらい館に就職。「みらい館には、『発見と創造』集い遊び学ぶ」という理念があつて、遊びを通して学ぶ機会を提供しています。私も子どもの頃に何度も行った施設だったし、企画に関わる中でいろんなことができそうだなと思いました」と話します。

吉田さんは、プレイホールで子どもたちに提供する遊びやプログラムの企画を担当。プレイホールでは毎週異なるプログラムを体験でき、第1・第4週末はみらい館にある様々な遊具や積み木で遊ぶ「みんなあつまれ!トイパーク」を、第2週末は家からいなくなつたおもちゃを持ってきて、他のおもちゃに取り替えて持ち帰れる「かえっこバザール」を、第3週末はゲストを招いて人形劇やコンサートをする「わくわくステージ」をしています。

「みらい館は昨年開館30周年を迎えたので、これまでに先輩方が築きあげてこられたものをベースに新しい企画を考えています。来館者の様子や年齢、社会情勢も見ながらどうということ

を子どもたちに伝えていくか、伝えたいことをどう遊びに組み込むかを試行錯誤するのが楽しくもあり難しい所でもありますね」と吉田さん。

今年の春休みには、「ダンボールランド」を開催。段ボール迷路の他に積み木や滑り台などを作り、子どもたちの創作意欲にもつながるよう実際に修理している様子も見せていきました。「段ボールって子どもたちの身近にあつてよく見る素材ですよ。その魅力を遊びながら全身で感じてもらいたいと思いました。滑り台が人気で、大きい滑り台を滑られるようになった子がいたり、年齢の異なる子たちが一緒に滑るので自然と仲間づくりができていたりしました。新型コロナの影響で、子どもたちが個々に遊ぶことが増えていましたが、知らない子同士でも遊んでいくうちに自然と友だちになれるような関わりをこれからもっと作っていかたいですね」と話します。

地元でも

令和元年6月には地元である黒部のNPO法人のメンバーにも加わり、企業研修や合宿で行うワークショップの運営などに携わっています。「団体の理念が『育つことのすべてを』なので、年齢問わず人の成長に関わることができ、黒部を拠点に全国の人たちと交流しながら皆さんのことが学べるのでおもしろいですね」と話します。

令和2年10月からは、黒部と世界をつなぐ、富山と世界をつなぐことをテーマに、「ミリマプロジェクト」(以下、ミリマという)という団体を立ち上げました。ミリマでは、国際協力に興味のある全国の人たちとオンラインで交流するイベントや黒部市内で実際に集まるイベントを開催。吉田さんがJICA北陸富山デスクで働いていたとき、新型コロナの影響で青年海外協力隊が帰国を余儀なくされました。吉田さんは、現地で活動できなくなった隊員たちを見て、海外には行けないけど富山で世界のために何かできないか一緒に考えようと思いメンバーを募りました。現在は6名で活動し、そのうちの1名はルワンダへの派遣が再開。オンラインイベントでは、現地からルワンダの情報を発信しています。「カメルーンで活動していたときにこれまで黒部のみなさんに支えられていたんだなと感じていました。だけど、自分が黒部のことを全部知っているかという知らないことだらけで、『セカイ』



吉田詩甫子さん

お知らせ

第18回 黒部市社会福祉大会

令和5年 7月15日(土)

[時間] 13:30~17:00 (※13:30以降のご入場は、お断りいたします。)

[場所] 黒部市国際文化センター「コラーレ」カーターホール

大会プログラム

1. 式典 …………… 社会福祉に貢献された方の表彰
2. 議事 …………… 地域福祉をさらに推進するための決議
3. アトラクション …… 映画「そして、バトンは渡された」上映

入場
無料

上映作品介绍

「そして、バトンは渡された」日本語字幕あり

2019年の本屋大賞受賞作が
待望の映画化

血の繋がらない(父と娘)。
血の繋がらない(母と娘)。
2つの家族がつながったとき、
命をかけた嘘と秘密が
紐解かれ始める。



©2021 映画「そして、バトンは渡された」製作委員会



©2021 映画「そして、バトンは渡された」製作委員会

大会事務局

【社会福祉法人黒部市社会福祉協議会】
〒938-0022 黒部市金屋464-1黒部市福祉センター内
TEL.(0765)54-1082 FAX.(0765)52-2797
主催:社会福祉法人黒部市社会福祉協議会/黒部市共同募金委員会/黒部善意銀行
共催:黒部市



特集 その後 ー世界を見てきた若者たちの今・前編ー



NPO法人のメンバーで枝豆の収穫作業

というと海外を指す言葉でもありますが、海外のことも地元のことでもっとみんなが知れるようになっていたらいいなという思いもあってミリマを立ち上げました。だから、黒部での活動も大事にしていきたいです。小さな団体だけど、アットホームな雰囲気や大事にして多様なつながりやいろんな年齢層の方に来てもらえる工夫をしていきたいです」と吉田さん。

いろいろな立場で関われるから おもしろい



ミリマのイベントで作ったアフリカ布のしおりとサモア柄のステンシルアート

「自分の人生を振り返ると学校での野外学習や家族と遊びに行ったときの体験が心に残っているんですね。それらが今の自分のベースになっているので、これからは体験を大事にしていきたいです。仕事であれ仕事じゃない所であれ、人が育つことにいろんな立場で関わっていったら、『人が育つこと』を軸に自分の考えに広がりを持てる気がします」と話す吉田さんからは、仕事や活動を楽しみながらも自己研さんを忘れない姿勢が感じられました。多様な価値観に触れて、見える世界が広がる機会を人々に提供する吉田さんの取り組みはこれからも続きます。

★来月号では、吉田さんと同時期にラオスで活動してきた長田光司(ながたこうじ)さんの今を紹介いたします。



Facebook



Instagram



HP

◀ミリマプロジェクトの詳細はこちら



Facebook



Instagram



HP

◀富山県こどもみらい館の詳細はこちら

※1 青年海外協力隊
開発途上国で現地の人々と共に生活し、同じ目線で途上国の課題解決に貢献する活動を行っている。帰国後は、日本をはじめ様々な国や分野で、経験を活かした貢献が期待されている。



みらい館のクラブ活動で子どもたちにルール説明する吉田さん

黒部市福祉センターのお知らせ

休憩時間/8:30~16:00 入浴/10:30~15:30

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、イベントの中止や休館となることがございますので、ご了承ください。

7月

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、7月は演芸、ステージ発表をいたしません。

休館日 毎週月曜日
(3日・10日・17日・24日・31日)

催し物と休館日のご案内

8月

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月は演芸、ステージ発表をいたしません。

休館日 毎週月曜日(7日・14日・21日・28日)
お盆のため13日・15日は休館です。

ポールウォーキング

14日(金) 13:30~15:00
場所:石田交流プラザ(現地集合)

28日(金) 13:30~15:00
場所:大布施公民館(現地集合)

囲碁・将棋クラブ

金曜日(7日・14日・21日・28日) 9:00~16:00
場所:黒部市福祉センター 研修室

今日のクラブ



誕生日のお祝いに福祉センターの入浴券はいかがですか?
11枚綴り・・・3,000円

地域福祉のために

黒部市社会福祉協議会に寄付をいただきました
ありがとうございました

関西電力株式会社 様

YKK労働組合 様

お知らせ

掘り出し物を見つけよう! チャリティー友愛セール

食器や食品、タオルや洗剤といった日用品など、盛りだくさんの品をご用意しています!

日時 令和5年7月8日(土)10:00~12:30

場所 黒部市民会館101会議室

主催 黒部市地区ボランティア部会協議会

お問合せ 黒部市社会福祉協議会
TEL.(0765)54-1082

今月の相談日

弁護士と法律相談

■黒部市福祉センター(金屋464-1)
7月18日(火) 13:30~15:30 / 予約受付7月3日より※先着4名
相談内容問わず、年度につき
1人3回までのご利用とさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター 生活自立支援相談

■黒部市福祉センター(金屋464-1)
7月10日(月) 10:00~11:30 / 予約受付7月3日より

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、相談員の変更や中止となることがございますので、ご了承ください。



黒部善意銀行

令和4年度活動状況のご報告

黒部善意銀行では、預託(寄付)という形でみなさまの善意をお預かりし、社会福祉事業に活用させていただいております。皆様のあたたかい善意に心から感謝いたします。

預託(寄付) 155,258円

貸出(配分) 140,000円

内訳 一般預託(18件) 155,258円
物品預託(2件) 衣類、玄米

内訳 生活保護世帯・準要保護世帯
修学旅行参加生徒への支援金として 140,000円

貸出対象者 生活保護世帯、準要保護世帯

預託者ご芳名 ※寄付当時の団体名で記載しています。(敬称略・順不同)

市内(個人) ●大川 輝邦
他市 ●富山県移動商業組合
企業・団体 ●くろべ陶芸友の会 ●富山県立にかわ総合支援学校中学部

『愛のともしび』募金箱

●生地公民館 ●ホテル黒部 ●黒部市宇奈月サービスセンター ●黒部市ふれあい福祉センター
●若栗公民館 ●黒部川電気記念館 ●風車 ●黒部市福祉センター
●延楽 ●道の駅 KOKOくるべ ●ワークマンプラス黒部店

感謝状の贈呈

明るい社会づくりに寄付する善行を讃えて、次の方々に感謝状が贈られました。
富山県善意銀行より(令和5年2月23日)

各種団体推薦の部

小野晴汰 様 籠瀬日菜子 様 高尾笑叶 様 三島元気会 様
氷見康弘 様 石山三千男 様 熊野真一 様

県善意銀行推薦の部

(株)延楽 様 大高建設(株) 様

[事務所] 黒部市福祉センター

[寄付受付] 黒部市ふれあい福祉センター / 黒部市役所 福祉課 / 市内各所設置の『愛のともしび』募金箱